

# 裏切り者糾弾・8・30津田沼拠点集会大高揚

「8・30組織破壊攻撃粉碎・反動密通分子糾弾、津田沼拠点総決起集会」は、「本部」反動集団の組織破壊・集会破壊の策動を、津田沼支部組合員と各支部からの動員者の熱いスクラムをもって粉碎し、裏切り分子への激しい糾弾闘争の第一歩をつくりだした。この圧倒的高揚は確実に、千葉一四〇〇組合員全体の闘いへと発展することは間違いない。内部から動労千葉破壊をたくらむこうしたやからには「職場の団結を破壊する行為」がいかに邪道なことを職場ぐるみの日常的な大衆的行動をもって、思い知らせねばならない。本号では、8・30津田沼拠点総決起集会における、特別報告、各支部代表者よりの発言を中心に紹介したい。

## 連日・長期の職場総決起で必ず粉碎する！

△特別報告▽津田沼支部 片岡支部長

今日、反動密通裏切り分子の防衛と称して連日、「本部」反動集団は職場を土足で汚している。彼らがいうところの「良心的組合員」とは、島田、斉藤(吉)、佐藤(和)をさして言っているらしいが、これこそ「再建」策動に失敗し、追いつめられた、「本部」反動集団のなりふりかまわぬやり方で、出来のよくない「トラの子(潜入分子)」を前面に押し出し、なんとか、千葉破壊の足がかりをつくらんとする見え見えの策動である。

然だなどとうそぶき、内部から闘いの足を引っぱり、反動集団の手

先となり下った裏切り分子に対し、連日・長期の大衆的な追及行動を展開し、組織のさらなる強化をくりあげてゆく。

## 支部委員会で追及行動強化を確認

△特別報告▽新小岩支部 松崎支部長

新小岩支部からは、不平不満分子二名が仲間を犠牲にして、全国大会へ参加し大きな憤激をかって

いる。「本部」反動集団は当局に泣きつき、当局は職場慣行を全く無視して裏切り分子に「休暇」を与えたことに職場から怒りの声が大きくなり出されてきている。

熊本大会は惨たんたる状況であり、動労大改革は着実に前進している。最近の「本部」オルグの実態は、「オルグ」は全くできず、ひとにぎりの裏切り者の「防衛」と「ピラはがし」しかできずにいる反動集団には焦燥感がありありとかがえる。

仲間を裏切っただけでなく、殺人未遂を含むあの4・17襲撃を当

役員、組合員が一体となってより一層大衆的追及行動を強化してゆ

## ますます高まる自信と確信

△各支部長から決意表明△

成田支部 森内書記長

八ヶ月間の闘いに勝利し、動労千葉の路線に自信と確信をもって、つき進み、密通分子を徹底糾弾し、ジェット闘争貫徹、増送阻止に向け闘い抜く。

蘇我支部 宇佐美支部長

全国大会で明らかになったことは、動労千葉の路線の正義性である、この指導路線のもと、一糸乱れぬ闘いを今後も展開してゆく。

木更津支部 斉藤支部長

支部結成以降、闘い抜いてきている仲間を、私利私欲のために裏切り、居直るものを断乎糾弾し、ともに闘い抜く。

勝浦支部 丸島執行委員

4・15以降、「オルグ」は庁舎千葉全体の闘いへ発展させよう

幕張支部 白井支部長

密通分子のしたことは、千葉の組合員に対する敵対行為であり、全国の良心的役員・活動家への背信行為に等しいものであり許せない。千葉全体の闘いへと発展させてゆこう。

館山支部 川名執行委員

今日来ているオルグ団は、青年部しか集められたいらしい。責任者が支部長の名前も知らないといふ、デタラメきわまるものである。

に一人たりと入れていない。反動分子と対決し組織破壊を粉碎し、最後まで闘う。

千葉転支部 永田支部長

九月早々に組織点検を行いたがら支部一丸となって闘ってゆく。

八ヶ月の激闘を教訓としつつ一致団結して闘い抜ける体制を造り上げてきた。反動集団の最後のドロ沼的破壊・攪乱策動を粉碎し、「水本」「安定宣言」にみられるセクト引きまわしと合理化完全屈服路線を許さず、9・16三里塚を闘い抜くことをとおして反合理化闘争にも決起してゆこう。